

日本海

ラパス山便り

鳥取大学ラパス山野外実習教育カリキュラム

~4~

エスピリットサントは、生態系が保たれて島では、乾燥地という。私たちが実際に厳しい自然環境下にあ島でキャンプを行い、自然に優しく、自然と融合するためにどのような生活をすべきか身をもって体験した。

実習の一環として、クはカヌーの一種。甲エスピリットサント島板部分が閉じられ、波でキャンプやエコツアーを受けても浸水を防ぐリズムを体験した。エことが出来る。安全でスピリットサント島環境に優しい乗り物は、バハカリフォルニだ。実際にカヤックをア半島から約八の海操り海洋を走破することを隔て、固有種が多くとて自然との一体感を存在する無人島であ満喫した。

る。メキシコ政府もまたシヌローケルでの貴重な生態環境を守海に降り、手の届くよるため島の行動ルーな距離を泳ぐアシカルを厳しく定めていの生態を観察。植生調査では植物や動物の調査にとどまらず、かつシカの観察、シヌローケル、植生調査などのときの住居や地層も調査した。



植生調査を行う学生

メキシコでの植生調査実習

(鳥取大学農学部三年 岩城佳奈子)

の国でも観光に対する産業としての期待は大きいと思われるが、観光開発による自然破壊は最小限にとどめねばならないと思う。今回はその方策を考える契機として有意義な実習となった。